



JET 参加者のキャリア支援 ～プログラム終了後のキャリア支援を行っています～

(一財) 自治体国際化協会 JET プログラム事業部調整課

JET プログラム事業部では、JET プログラム参加者にプログラム終了後も日本と世界との架け橋として引き続き活躍いただくために、プログラム終了後のキャリア支援を行っています。

1～3月にかけて「キャリアビジョン形成 WEB セミナー」「JET プログラム終了前研修」「JET プログラムキャリアフェア」を実施しました。

キャリアビジョン形成 WEB セミナー (2022年1月13日)

すべての JET プログラム参加者に、今後のキャリアビジョンを明確にしていくための参考として、「キャリアビジョン形成 WEB セミナー」を配信しました。

「①労働市場の現状と今後の流れ」「②就職活動の基本と方法」「③ JET プログラムの経験の活かし方」「④キャリアビジョンを明確にする」の4つのトピックに分けて動画を配信しており、セミナーの中で自身のキャリア

ビジョンをより明確にさせていただくために、キャリアプランニングシートを作成する時間を設けています。

また、WEB セミナーを受講した方のうち、自身のキャリアビジョンをより深めたいという方を対象に、キャリアビジョンフォローアップセミナー (2022年2月5日) を開催しました。

それぞれ作成したキャリアプランニングシートなどをもとに意見交換を行い、それぞれのキャリアプランをブラッシュアップしていきました。



キャリアビジョンフォローアップセミナーの様子

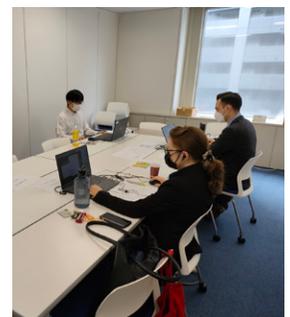


キャリアビジョン形成 WEB セミナー掲載ページ
<http://jetprogramme.org/ja/careersupport/career-vision-webseminar/>



JET プログラム終了前研修 (2022年2月19日・20日)

2022年に JET プログラムの任期を終える予定の JET プログラム参加者を対象に、2022年2月19日、20日の2日間に渡って、JET プログラム終了前研修を開催しました。



JET プログラム終了後に、運営を行うクリアスタッフさまざまな業界で活躍されている JET プログラム経験者を講師に招き、講演やネットワーキングを行いました。

日本国内外で活躍する JET プログラム経験者から、



ネットワーキング会場

キャリア形成の方法や現在の就職市場の状況などについて、それぞれの経験を踏まえて、さまざまなお話をいただきました。

講演会の後には、講演者や JET プログラム参加者、JET プログラム経験者とのネットワーキングセッションも両日を通して行われ、参加者からは、今後のキャリア形成の参考にしようとさまざまな質問が飛んでいました。

さらに、イベント期間中には、人数限定で個別のキャリア相談会を実施しました。日本国内や母国を中心に次のステップに進まれる予定の JET プログラム参加者からは、日本での就職活動を行うに当たっての細かい部分の相談や質問などがあり、「相談できる機会があって心強かった。」「JET プログラム終了後も自分の目標に向かって努力していきたい。」などの声をいただきました。

JET プログラムキャリアフェア (2022年2月26日・3月5日)

2022年2月26日、3月5日の2日間で「JET プログラムキャリアフェア」を開催しました。

2020年度に続いて、オンラインでの開催となりましたが、2021年度はよりオフラインに近い形でのキャリ

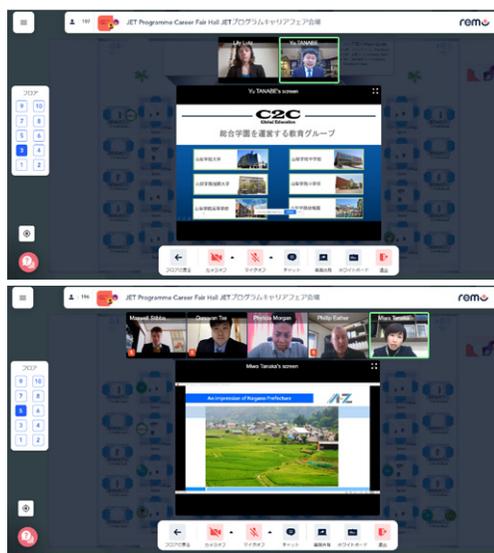


企業ブースの様子
(右：会場全体に向けての出展企業からのアナウンス)

アフェアを目指して、新たなオンラインツールを用いて開催しました。

初めての試みではありましたが、全国各地から 200 名を超える JET プログラム参加者（経験者含む）と出展企業およそ 90 社にご参加いただき、無事開催することができました。

参加者からは、「コロナ禍において、これまでよりも就職活動の難しさを感じている中で、企業の担当者と直接話すことのできる機会は非常に貴重だと感じた。」「オンライン上での開催のため、ブースの移動も簡単で多くの企業の話を知ることができて良かった。」「フリースペースで、自分と同じように日本での就職を目指している JET プログラム参加者と意見交換をできた点も有意義であった。」というような声をいただきました。



企業ブースごとの説明会の様子

企業側からは、「これまでのオンライン開催と比較すると参加者と双方向でのやりとりが活発に行えて良かった。」「オフライン開催に近いと感じた。会場に来ている参加者全体にチャットで呼びかけることで、効率的に参加者を自社のブースに呼び込むことができた。」「自社に興味を持っていただいた参加者とボタン1つで個別ブースに移動して、1対1で細かい質問にまで丁寧に答えられる場をすぐに設けられることはオフライン時にはない良さだと感じた。」などの意見をいただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大規模な会場でのイベント開催が難しい状況ですが、JET プログラム参加者に、引き続き日本国内でもご活躍いただけるよう、より有益な事業提供に努めていきます。